



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

UAE : 2009 年失業率

(5月31日付ガルフ・ニュース紙)

5月31日付現地英字紙ガルフ・ニュースは、30日に公表された国立統計局による2009年のUAEの失業率・雇用状況などに関する報告について報じている。概要は以下の通りである。

1. 2009年のUAEの失業率は、世界金融危機の影響にもかかわらず、二桁であった前年（注：記載なし）から、4.2%に低下した。
2. UAE総人口のうち53%が雇用されており、19.9%は就業の意志がない。
3. 外国人労働者（注：ホワイトカラーを含む）の79%が雇用されており、UAE国民の雇用率は45%である。
4. 非雇用者の大半は25歳以下の新卒者である。
5. UAE国民に限れば、ドバイでの失業率が最も低いが、これはドバイ首長国における活発な経済活動によるものである。
6. 経済的に活発な労働人口である25～54歳のグループのうち、42%が女性である。男性の就業者のうち、89%が25～54歳のグループに相当する。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799